

機械器具の設置と福祉、 IT事業を3本柱に躍進

佐藤 仁志氏

北海道共伸特機社長



道内シェア70%以上を誇る
スーパーやコンビニへの機械
器具設置工事業をメインに、
IT事業や福祉事業で業務を
拡大してきた。

17年はIT事業を拡大すべ
く、北海道初の現場作業管理
支援クラウドアプリ「キョウ

シン7」を発表。同アプリは
銀行や官公庁でも採用されて
いるセールズフォースドット
コム社の「Force.com
」環境を採用しているため、
セキュリティも万全だ。

18年はIT事業で培った管
理技術と福祉事業で蓄積した
ノウハウを活用し、病児保育
事業への参入も視野に入れる。
「37・5度以上の熱を出すと、
保育園では預かってもらえま
せん。それが子育てと仕事の
両立を阻む大きな壁となつて
います。そのため、安心安全
な病児保育」を目標に、医療
機関、保育園、企業などと連
携して、働く女性の手助けを
し、北海道の労働力の最大化
を目指し活動していきたい」

(さとう・ひとし) 1969年
札幌生まれ。86年北海道共
伸特機に入社。96年に専務、
16年代表取締役社長に就任。